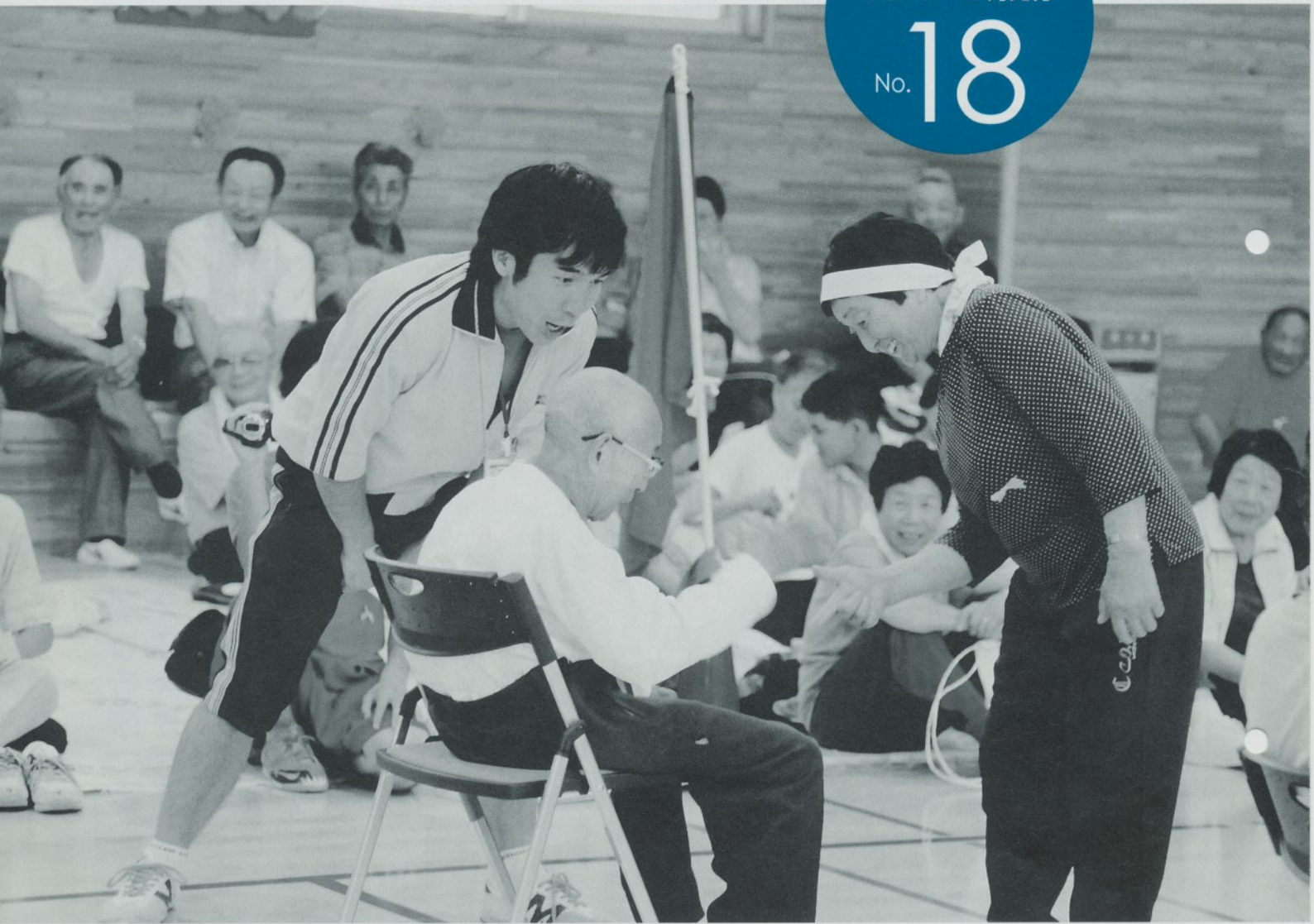


ふれあいネットワークはろまんたい

福祉だより

2010.10月発行

No. 18



主な内容

- 地域ネットワークの仕組みP2
- 福祉ボランティアの様子P3
- フット広場P4
- 共同募金のお願いP6
- 福祉まつりのご案内P7
- お知らせP8

笑顔、声援満面
元気、はつらつ

障がいのある人も高齢の人も一緒になって練り広げる第四回福祉運動会が七月二十九日に田山小学校体育館で行われました。

この日も気温三〇度を超える熱気と競技におよそ、二七〇人の参加です。

当日は、市内福祉団体や安代地区の中学校の生徒ら六十五人のボランティアの方々からお手伝いをいただき、応援と競技を会場いっぱに練り広げました。

この福祉運動会は、参加した人たちが所属する団体、年齢、男女区別なくチームを編成し、お互いを知り、声の掛け合いをねらいとしているものです。

「いだったか〜」「いるよ〜」 = ひと声が支えるお互いさま =

「もし、具合が悪くなったら」とか「今晩は明かりも見えない」など、不安になりがちです。お互いのために隣り近所や地域が支え合っている皆さんの活動の仕組みについて紹介します。

テレビや新聞などで報道されていますようにお年寄りの方の生活に様々な話題を取り上げられています。

中でも「孤立」という言葉が飛び込んできます。高齢者が多くなつたという社会問題ではなく、この地域に生まれて自分の家で生涯を終えたいという考えは、誰もが望むものです。

一人暮らしの方や高齢者のみの世帯は市内でおよそ九〇〇人おられます。このうち四四〇人の方に七九人がボランティアで見守りの活動を行っています。この主役は、地区担当の民生委員さんや隣り近所の方々です。

見守り活動に 七九人登録

一人暮らしの方や高齢者のみの世帯は市内でおよそ九〇〇人おられます。このうち四四〇人の方に七九人がボランティアで見守りの活動を行っています。この主役は、地区担当の民生委員さんや隣り近所の方々です。

隣り近所、支える大きな力

この活動は、地域の支え合いや賛同をいただいた方々の善意によるものです。ですから隣り近所の方や地区担当の民生委員さんの顔でつなぐものです。

一方では、「迷惑をかけてはいけない」とか「恥ずかしい」などの遠慮は無用です。一番は、皆さんが孤独にならないように毎日の生活を送ることが大事です。一声が大きな支えになります。「いだったか」「いるよ〜」のお返事でひと安心なのです。

気軽な声掛け 確認、安心に

万一、変わった様子のおときは関係機関に通報して連絡を待ちます。緊急の時は、消防署、警察署あるいは市役所など事業所との連携もあります。

八幡平市社会福祉協議会では、高齢者の見守りネットワーク活動として事業に取り組んでいます。そして市内全部の地域をお互いが見守り合いながら暮らす地域をどんどん増やして気軽な一声運動を広げていくものです。

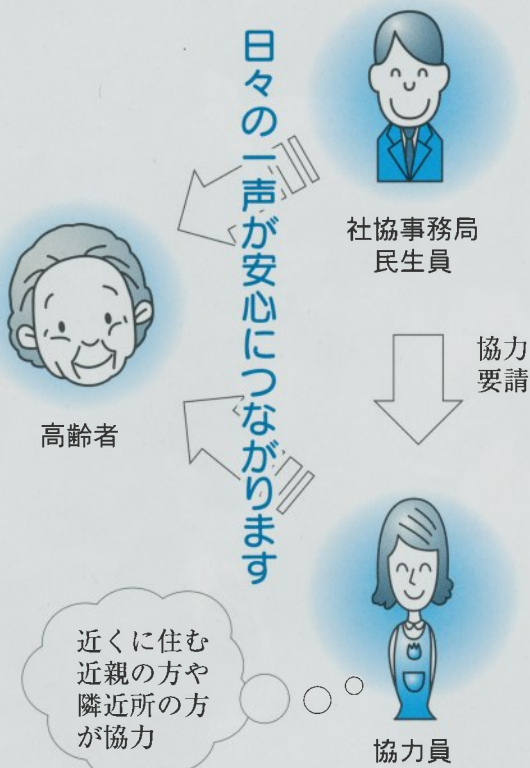
繋ぐお互いを 地域の活動で

見守り活動は、地域の繋がりが大事です。心配ごと相談の時や電話などでも結構ですので気軽に問い合わせ下さい。

連絡先は、社会福祉協議会の本所、西根支所、安代支所のどちらでも結構です。

最新機器として見守り活動には、希望者を対象にしてご自宅の電話とインターネットで結び、生活の様子を教える仕組みの導入も予定しております。その折には詳しくご案内します。

■ネットワークの関係図



ですが、明日のことは予測できないことはたくさんあります。まずは、毎日の声の掛け合いで安心だったり大事に至らなかつたということが多く見受けられるようになりまし

八幡平市の福祉ボランティア活動にご参加を

やりがいがい思いやりに 市民の力が輪になって 自分のため、他人のために

ボランティア福祉活動は、皆さんもご存じのとおり、誰かのために、あるいはいつか自分のためにと、いろいろな場面に参加しています。

このボランティア活動は、地域を支える上で重要な役割を担っています。

市内で活動している様子を紹介します。

雪かきボランティア

雪国ならではの活動です。高齢者世帯の安否を兼ねてスノーバスターズのグループです。安代地区や松尾地区、寺田地区にスノーバスターズの会が設置され、総勢百八十八人です。

お世話になった対象者は、八十九人に及び出勤の都度、お礼の言葉に満足度アップの活動ぶりです。

ボランティア活動は中学校の生徒、若者や高齢者と一緒の取り組みは、地域や世代の交流にもつながっています。



先輩から後輩へと活動の伝承もしっかりです

声お届けボランティア

幼児には本の読み聞かせも大切な養育にあるといわれます。一方では、目の不自由な方に八幡平市の広報や福祉だよりを録音テープでお知らせするなどの活動があります。読み聞かせでは、児童館や学校に向いたり紙芝居なども持ち寄りたり幅広い活動です。

グループは、朗読奉仕ほおずきの会、広報紙などを声に編集してお届けのさくらの会の総勢十二人です。

福祉行事も一手に

行事は、地区の独自行事であったり福祉協議会の大会などにボランティアの皆さんから協力をいただいております。

地区活動の分野では、西根地区にサロンひまわり、コスモスの会、松尾地区は、民生児童委員の女性部で構成する子育てサロン、安代地区は、たんぼぼ、ピンクレディらの六団体があります。

この活動は、高齢者や一人暮らしの方を対象にして楽しいひと時を過ごしていただき、喜びの顔に大満足で活動に奉仕しております。子育てサロンも同様です。昔は家には、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、子どもがおり、たくさん家族でした。

時代の変化で家族の構成も変わりましたので「他所の子も地域と一緒に見守りましょう」という活動です。子育て経験の豊かな会員が悩みを聞いたり、養育アドバイザーなどの活動です。一方では、和やかさの弾みから若いお母さんからパワーをいただく楽しみもあるそうです。



車両の貸し出しと運転手も支援します

社協運営にも大きな力

市のボランティア活動には団体活動ばかりではございません。

市内の学校に向いて福祉の学習を応援する「でりばりー講座」です。車いすの操作、装具を付けたお年寄りの体験、体の不自由さなどそれぞれに体験して思いやりの心を育てるために行っています。

体の不自由な方に通院や役所に用事があったときに福祉車両を利用いただいております。この場合、車両を運転する外出支援サービスのお手伝いをいただく有償の活動もあります。

楽しく役立てのために皆さんの仲間入りをお待ちしています。

▽本部・問い合わせ先

八幡平市社会福祉協議会

ボランティア活動センター

(委員長 瀬川愛子)

☎七四一四四〇〇(社協事務局内)